

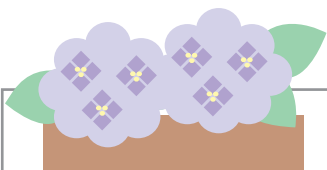
みんなで、す～で！  
ながさき虹色プロジェクト

長崎市地域まちづくり計画

令和3年度～令和7年度



長崎市



## 計画の名称について

---

「みんなで、す〜で！ながさき虹色プロジェクト」の名称は、地域コミュニティ推進審議会の委員の皆さまにご提案いただき決定したものです。地域にはいろいろな人がいて、まちづくりは地域によって異なり多様性がある、また、現状から明るい未来への懸け橋になるという意味が込められています。みんなでまちづくりに取り組もうという思いを、皆さんに身近に感じていただくよう長崎弁で呼びかける言葉で表現しました。

## はじめに



地域では、子どもたちの登下校の見守りやご高齢で一人暮らしのお宅への声かけ、日ごろの清掃活動、いざというときのための防災訓練、地域の子どもから大人までみんなで楽しむ夏祭り、伝統行事のペーロン大会など、様々な活動に取り組みされており、日々の暮らしは地域の力に支えられ、大変心強く感じています。

以前は、1つの家に、子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまでみんなで住んでいる世帯が多くありましたが、現在は一人や二人で暮らす世帯が増えてきました。何か困りごとができたときに、家の中だけで解決することが難しくなっていており、生活スタイルや価値観の多様化、さらには各地で頻発する大規模災害や新型コロナウイルス感染症をきっかけとした新しい生活様式への転換など、地域の課題も時代とともに変化してきています。

そんな時代だからこそ、地域のみんなで助け合う、**地域の力**が大事になってきます。

長崎市では、平成23年に地域福祉計画を策定し、「誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまち」を目指し、地域福祉の推進に取り組んでまいりました。

さらに、将来に向けて地域の力を集める「地域コミュニティのしくみづくり」と、市がしっかりと地域に寄り添った支援をする「行政サテライト機能再編成」を進め、地域を支えるしくみを構築し、平成31年3月には「長崎市地域におけるまちづくりの推進に関する条例」を施行しました。

これからもより一層地域のつながりを深め、それぞれが強みを活かし役割を果たしながら、地域と市、関係機関が力を合わせて**地域のまちづくり**を進めていくため、この度、「みんなで、す〜で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】」を策定いたしました。

この計画では、長崎市が目指す地域の姿として「みんながつながり支えあい、安心していきいきと暮らせるまち」を掲げており、その実現に向けては、市民一人ひとり、地域、市、関係機関、みんなで連携・協働して取り組むことが必要不可欠です。

多くの市民の皆さまにぜひご一読いただき、地域のことを考えるきっかけにさせていただいて、みんなで地域のまちづくりに取り組んでいきましょう。

最後になりましたが、計画策定にあたり、貴重なご意見、ご提案をいただきました地域コミュニティ推進審議会の皆さま、地域コミュニティ連絡協議会のほか各地域団体の皆さま、市民アンケートにご協力いただいた皆さまに心からお礼申し上げます。

令和3年3月

長崎市長 田上 富久

## つながり合い、支え合うまちをつくりましょう



近年の高齢化、人口減少が進行する中、核家族化や生活の多様化等により、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤が弱まってきています。暮らしにおける人と人とのつながりを再構築することで、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会にしていくことが求められています。

また、各地で多発している大規模災害では、地域住民の助け合いの大切さを再認識するとともに、災害ボランティア活動をはじめとした支え合い活動の重要性が高まりつつあります。

このような中、長崎市においては、地域の各種団体が連携してまちづくりに取り組み、地域が主体的に課題解決に取り組むためのしくみ(地域コミュニティのしくみ)づくりが進められています。

長崎市社会福祉協議会は、誰もが<sup>⑤</sup>だんの<sup>④</sup>らしの中で<sup>③</sup>あわせを感じられる笑顔あふれるまち“ながさき”を目指して、これまでも長崎市とともに、地域福祉計画をもとに地域における支え合いの取り組みを支援して参りました。これからも社協支部や自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、青少年育成協議会等の各種団体の皆様方との連携を図りながら、地域の支え合いの力を醸成し、地域福祉の基盤づくりを推進して参ります。

今なお、新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、当たり前だった日常に制限がかかり、外出の自粛や人との接触を減らす努力が求められるなど、以前と同じように寄り合うことが難しくなる中、より一層地域での工夫を凝らした見守りやつながりづくりが求められてきています。

この「みんなで、す〜で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】」の実現に向け、市民の皆様や関係機関・団体の方々と手を携えながら地域福祉の推進に努めて参りますので、今後ともより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり貴重なご意見と多大なるご協力を賜りました委員の皆様、関係各位の皆様に、心からお礼を申し上げます。

令和3年3月

社会福祉法人 長崎市社会福祉協議会  
会 長 馬場 豊子

## 長崎市地域まちづくり計画の策定にあたって



私たちは今、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの真っただ中にいます。感染を拡大させないよう、人との交流をみんなでご我慢して、息をひそめて暮らしています。人と人との交流の大切さがこれほど身に染み込んできた時期はなかったのではないでしょうか？ いつまでパンデミックが続くのか不安な気持ちでいっぱいになっています。

ただ、これまでも人類は、たびたび感染症と戦ってきました。中世のペストや100年前のスペイン風邪などです。そのたびに人類はこれを乗り越えてきました。また、パンデミックが人の価値観を大きく変化させてきたことを歴史は教えてくれています。中世ヨーロッパで流行したペストの後にはルネッサンスが開花し、スペイン風邪の後にはアメリカ型資本主義社会が生まれました。

この苦しさは、人に立ち止まって考える時間を与え、信じてきた古い価値観を壊し、新しい価値観を生み出す力になります。社会の変化の兆しは、すでにこのパンデミックから芽吹いていました。SDGsとして表現されるような、アメリカ型の競争的で大量生産・大量消費をもとにした資本主義社会への疑問もその一つです。強いものが勝ち、弱いものが負ける競争の時代から、皆で助け合う共創の時代へ。

地域コミュニティ推進審議会では、感染症予防対策の制約条件がある中で、地域コミュニティ推進室の皆さんご尽力のもと、全員での対話を重視してきました。長崎の未来はどうあるべきか？ その話意の中で、私たちが目指す未来を表す言葉として、“虹”が浮かび上がりました。

虹は、雨が降ったからこそ美しく現れる。苦難の先に明るい七色の多様で調和した未来を創る、そんな想いを委員みんなでご共有しました。地域のつながりが、このパンデミックを乗り越えた先に“虹”のように美しく花開く。そんな虹色の未来を、「ながさき虹色プロジェクト」として描き、パンデミックの先に虹の先にある美しい長崎の未来を市民の皆さんで創っていただけることを祈っています。

令和3年3月

長崎市地域コミュニティ推進審議会

会 長 西村 宣彦

(長崎大学経済学部教授)





# 目次

## 1

### 計画の基本的な考え方について

---

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 計画策定の趣旨と経過 | 1 |
| (2) 計画の概要・位置付け | 3 |
| (3) 計画の期間      | 3 |

## 2

### 長崎市の現状

---

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 人口の推移     | 4 |
| (2) 世帯人数の推移   | 4 |
| (3) 人口構成      | 5 |
| (4) 自治会加入率の推移 | 5 |

## 3

### 計画策定に係る検討過程

---

- |                          |    |
|--------------------------|----|
| (1) 検討過程                 | 6  |
| (2) 第2期地域福祉計画の検証による成果と課題 | 10 |
| (3) 地域自治を進めるために必要な視点     | 13 |

## 4

### 目指す地域の姿

---

- |                  |    |
|------------------|----|
| (1) 目指す地域の姿と2つの柱 | 14 |
| (2) 計画の体系図       | 15 |

## 5

## 目指す地域の姿を実現するために

<b>柱1 みんなで取り組む地域のまちづくり</b>	<b>17</b>
(1) 一人ひとりが地域に関心を持つ	19
(2) 様々な人や団体が参画し連携する	24
(3) 暮らしやすいまちづくりに取り組む	27
(4) 個性ある地域の魅力づくりに取り組む	37
<b>柱2 未来へつなげる体制づくり</b>	<b>40</b>
(1) 地域の体制づくりを進める	40
(2) 地域への支援体制を強化する	45

## 6

## 計画の推進・進行管理

(1) 計画の推進	51
(2) 進行管理	51
(3) 目標指標	51
(4) 方向性の進捗をはかる指標	52

## 7

## 参考資料

(1) 長崎市地域コミュニティ推進審議会	54
(2) 長崎市地域コミュニティ推進本部	55
(3) 長崎市社会福祉協議会	56
(4) 市民アンケート調査結果概要	58
(5) 長崎市よかまちづくり基本条例	63
(6) 長崎市地域におけるまちづくりの推進に関する条例	66